

## 令和4年度体験王国ツーリズム創出支援事業

### 【公募要領】

#### 1 事業概要

##### (1) 目的

茨城県では、ポストコロナにおける観光戦略として、本県が有する多様な自然、豊富な食材、首都圏からの近接性を活かしたキャンプやサイクリング等のアウトドアを核とした誘客を進めている。

そこで、他地域との差別化を図り、新たな需要獲得を進めるため、本県のアウトドアフィールドを活かした滞在型コンテンツ等によるツーリズムを実証事業として幅広く募集し、その実現に向けた支援を行い、誘客促進ひいては観光消費額の増加を目指します。

なお、採択された事業については、県内のアウトドア事業者や地域事業者との連携を必須とし、自走化を想定した実証事業として取り組むこととします。

##### (2) 事業内容

ア 民間事業者等が実施する、本県のアウトドア資源等を活かした滞在型コンテンツによるツーリズムを「体験王国ツーリズム実証事業」として認定し、実施に係る経費を支援します。

イ 実証事業の実施に当たっては、テーマを設定したうえで、事業主体となる団体等を募集します。

**【テーマ1：フィールド】** 山、海、川、湖、その他  
**【テーマ2：アクティビティ】** キャンプ、サイクリング、トレイル、フィッシング、カヌー・SUP、チェアリング、サウナ、その他

※各テーマで複数選択可。

ウ 実証事業を通じて、地域のアウトドア事業者や地域事業者等を巻き込み、本県の自然環境を活かした話題性のある取組みを提案し、事業の自走化を目指していただきます。

エ 令和5年2月28日中に完了する事業を対象とします。

##### (3) 基本的な考え方

ア アウトドアフィールド

本県の代表的なアウトドアフィールドとして、「海・山・川・湖」の4つに分類しておりますが、その他のフィールドでの提案を妨げるものではありません。本県の誇る豊かな自然を活かせる野外のフィールドでの企画を提案してください。

イ アクティビティ

アウトドアフィールドにおいて、より自然に触れ、魅力を体感することができるのがアクティビティです。本県の強みであるキャンプ、サイクリング、トレイル等をテーマとして挙げておりますが、記載以外で、フィールドを活かせるアクティビティがあればご提案いただいても構いません。

#### ウ 体験王国ツーリズム

本県では、令和5年10月～12月に「体験王国いばらき」をテーマに掲げた、茨城デスティネーションキャンペーン（以下、DC）を控えており、令和4年度の同期間においてもプレキャンペーンとして様々な取組みを行っていきます。そこで、当該事業としては、DCに向けた強力なコンテンツとして、アウトドアを核とした本県ならではの滞在型コンテンツ等によるツーリズムを「体験王国ツーリズム」と位置づけます。

#### (4) 支援内容

- ア 対象事業 アウトドアを核とした滞在型コンテンツやツアーなどの造成
- イ 支援額 実証支援金として、限度額3,000千円/件を支援
- ウ 採択件数 最大4件
- エ 応募方法 企画提案方式（公開コンペにおいて、別途定める審査員会で採択事業を決定。）

#### (5) スケジュール

- ア 事業採択後、別途定める支援金交付要綱に基づき、速やかに支援金の交付申請をしていただきます。
- イ 事業実施期間は、支援金交付決定後から令和5年2月28日までとします。

時期		内容
令和4年	7/11	公募開始・事前説明会
	8/12	公募締切 ⇒ 対象事業の選定
	8/19	1次審査の結果発表
	9/2（予定）	最終審査コンペの開催 事業採択
	9/2以降	交付申請/交付決定 ⇒ 事業開始 中間報告・ヒアリング
令和5年	2/28	完了報告書提出期限

## 2 公募の要件

### (1) 提案者及び実施体制

- ・提案者は、民間事業者や市町村、観光振興に取り組む団体、協議会など本事業の主体となる団体とする。
- ・実施体制について、市町村自治体や、観光地域づくり法人（DMO）、観光協会、民間企業等、広く地域内の関係者との連携を行うこと。

## (2) 取組み内容

実証事業として、関連事業者と連携しながらテーマに沿った以下に関することに取り組んでいただきます。

ア 茨城県のアウトドア資源（多様なフィールド、アクティビティ）を活かした話題性のある滞在型コンテンツの造成。

イ 既存コンテンツの組み合わせ、又は新規コンテンツの追加による自然体験型ツアーの造成。

ウ 受入側におけるアウトドアを活用した新サービスの提供。

エ 本事業終了以降、継続的に実施することを前提とした取組みであること。

(想定する実証事業の例)

- ・川などの水辺を活かした、滞在時間を延長させるチェアリング等のコンテンツやサービスの実施
- ・キャンプとサイクリングを組み合わせた、地域を周遊する新たな自然体験型ツアーの開催
- ・地元食材を使った携行食糧等による地域密着型のトレイルツアーの実施
- ・ICT等を活用したアウトドアと地域をシームレスにつなぐ仕組みの構築・実施

## (3) 新型コロナウイルス感染症対策関連

- ・新型コロナウイルス感染症に関する国・県の要請等に従って実施すること。
- ・事業実施中に新型コロナウイルス感染症患者が発生した場合について、業界団体等が定める新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインに従い、適正な対応をとること。

## 3 支援対象経費

### (1) 支援対象となる経費

項目	内容
賃金	事業実施のために任用する臨時職員などの賃金等
報償費	事業実施に必要なアドバイザー、専門家等への謝礼等
旅費	事業実施に必要なアドバイザー、専門家等に対して支払う旅費
需用費	各種消耗品費、ポスター等の印刷製本費
役務費	郵便料等の通信運搬費、イベント保険料
委託料	事業実施に必要な委託料
工事請負費	事業実施に必要なインフラや改修工事等に要する経費
使用料	会場等の借上料・使用料、備品や資機材のリース料

### (2) 支援対象外となる経費の例

- ア 本事業に直接関係のない経費
- イ 本事業の採択前に生じた経費
- ウ 申請者における経常的な経費（人件費、光熱費、通信運搬費 など）
- エ 国又は県等により別途、補助金等が充当されている経費、もしくは充当が予定されている経費

オ 施設や設備の整備、備品購入自体を主たる目的とする経費

カ モニターツアーなどに係る個人への旅行代金の支給（交通費、宿泊費などの給付経費）

#### 4 事業完了の報告等

- ・事業期間の中間時に、実施事業者に対してヒアリング等を実施し、進捗状況等を確認します。
- ・事業者は、実証事業が完了した日から起算して 30 日以内又は、令和 5 年 2 月 28 日のいずれか早い日までに、実績報告書のほか関係書類を添えて提出してください。

#### 5 事業の選定

##### (1) 選定方法

###### ① 1次審査

県において、提出された書類を評価項目に基づき審査し、決定します。

###### ② 2次審査（最終審査）

プレゼンテーションを行っていただき、県が選定する有識者による審査委員会において、最大 4 件を採択します。

##### (2) 主な評価項目

###### ①アウトドアフィールドの有効活用

###### ②話題性、独自性

###### ③経済効果（地元への経済効果等）

###### ④実施体制

###### ⑤継続性（レガシー）

##### (3) 留意事項

- ・最終審査に残った提案については、特設サイト上での公開のほか、マスコミ等へ情報提供する場合があります。
- ・採択された事業は広報・宣伝展開について、DCと連携して行うことを予定しています。

#### 6 審査結果の通知及び公表

##### (1) 1次審査

- ・審査結果は、応募者に対して通知いたします。
- ・1次審査を通過した事業については、特設サイト上で公表します。

##### (2) 2次審査（最終審査）

審査当日に会場にて発表を行い、特設サイト上でも公表します。

## 7 申請書等の提出

(1) 提出期限 令和4年8月12日(金) 17:00

### (2) 提出物

- ア 企画提案提出書 (様式1)
- イ 企画提案概要書 (様式2) ※最大10MB
- ウ 企画提案書(任意様式) ※最大10MB/別紙記載要領を踏まえた内容としてください。
- エ 事業費積算内訳書(様式3)

### (3) 提出方法・提出先

WEB上の申請ページから提出してください。(観光いばらき内特設ページ)

URL : <https://tourism.ibarakiguide.jp>

※WEB申請できない場合は、事務局までお問合せ下さい。

### (4) 問合せ先

茨城県体験王国ツーリズム創出支援事業事務局

MAIL : [ibaraki-taikenoukoku@bsec.jp](mailto:ibaraki-taikenoukoku@bsec.jp)

### (5) その他

- ア 書類等の作成に使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とします。
- イ 申請書類の作成及び提出に係る費用は、申請者の負担とし、提出された資料の返却はしません。
- ウ 申請書類に虚偽の記載をした場合は、応募を無効とします。
- エ 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、事業内容を変更することがあります。

以 上